

# 福島経済マンスリー

## 5月の県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるが、全体では引き続き厳しい状況にある。

### 1. 2022年5月の県内経済

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、コロナに対する警戒感がやや弱まり、消費の一部や設備投資に持ち直しの動きがみられるが、円安およびロシアによるウクライナ侵攻に起因する原油・原材料価格の高騰や慢性的な半導体不足など、様々な要因が複合的に重なって、全体では引き続き厳しい状況にある。		
消費動向	乗用車販売台数は半導体不足と海外からの部品供給不足による減産などから前年を下回った。また、大型小売店販売額が前年を下回ったが、ドラッグストア、コンビニエンスストアそれぞれの販売額は前年を上回った。一方で、消費者物価指数は上昇傾向にあり、消費動向への影響が懸念される。		
公共投資	公共投資は、前年に国が発注した除染や被災建物の解体工事、県が発注した道路整備工事などの反動から前年を下回った。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、工事費予定額が卸・小売業や製造業などを中心に前年実績を上回ったが、基調はほぼ横ばいで推移している。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲がいずれも前年を下回っており、合計でも3カ月ぶりに前年比で減少した。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整値が88.0で前月比+6.4%、原数値が84.3で前年比△1.6%となった。業種別の季節調整値を前月比で見ると、「輸送機械工業」など12業種で上昇し、「電気機械工業」など7業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が1.40倍と前月を0.02ポイント上回り、新規求人倍率は、季節調整値が2.09倍と前月を0.05ポイント上回った。また、雇用保険受給者実人員は前年比で△1.7%となった。		

注1：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2：「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。

なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3：「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4：鉱工業生産指数は4月データ。

〈天気図（水準）の意味〉				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
← 良 い			悪 い →	

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2021年12月	2022年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.6	1.6	1.7	1.7	2.2	△ 0.7
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	△ 0.1	1.0	△ 2.9	△ 0.7	1.2	2.0
	ドラッグストア販売額（全店舗）	5.3	4.2	7.9	2.9	5.1	2.6
	乗用車販売台数	△ 8.2	△ 9.0	△ 12.8	△ 15.2	△ 13.0	△ 5.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 36.8	△ 77.6	△ 76.6	△ 61.7	27.1	△ 28.8
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	11.5	93.2	△ 13.4	202.0	64.3	15.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	1.1	41.3	△ 19.5	26.4	1.5	△ 16.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.5	△ 1.7	4.7	△ 6.3	△ 1.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.17	0.18	0.17	0.13	0.13	0.13
	雇用保険受給者実人員	△ 11.1	△ 5.5	△ 3.4	△ 3.5	△ 5.7	△ 1.7

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2021年12月	2022年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	27.4	△ 17.2	△ 9.1	9.6	△ 4.9	4.9
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	9.7	△ 8.4	△ 8.4	12.6	△ 0.8	3.0
	ドラッグストア販売額（全店舗）	2.7	1.7	△ 3.5	△ 2.6	5.6	0.08
	乗用車販売台数	△ 6.0	△ 5.8	9.9	62.4	△ 41.3	△ 6.8
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 23.9	△ 29.7	△ 25.2	277.3	84.1	△ 46.5
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	184.1	31.2	△ 57.1	117.4	△ 22.7	△ 51.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	8.7	△ 4.1	△ 13.6	14.6	6.9	△ 29.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.2	△ 3.4	0.4	△ 2.7	6.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.04	0.03	0.03	△ 0.03	0.00	0.02
	雇用保険受給者実人員	1.1	△ 2.3	△ 6.0	2.9	△ 1.6	3.4

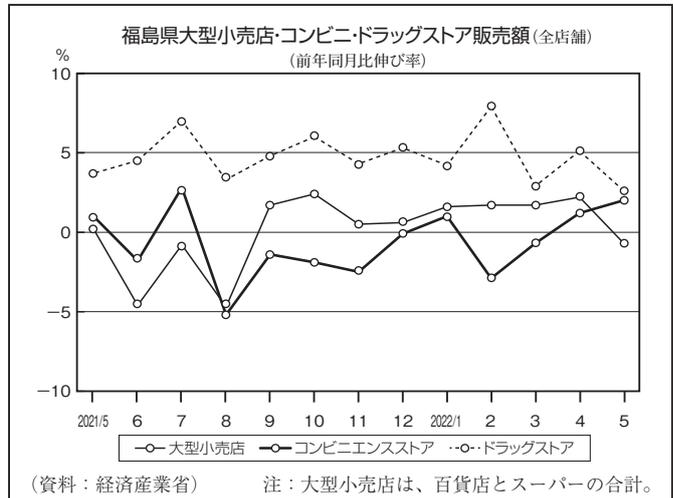
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

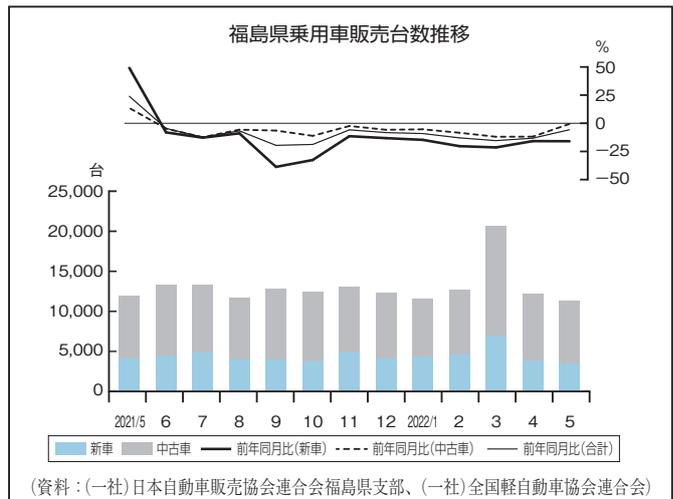
#### 大型小売店が前年比減、ドラッグストアおよびコンビニは前年比増

5月の県内大型小売店の販売額は233億79百万円（前年同月比△0.7%）と9カ月ぶりで前年を下回った。一方、ドラッグストア販売額は93億38百万円（同+2.6%）と13カ月連続、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は172億46百万円（同+2.0%）と2カ月連続でそれぞれ前年を上回った。なお、大型小売店、ドラッグストア、コンビニの販売額合計は499億63百万円（同+0.8%）と前年を上回った。



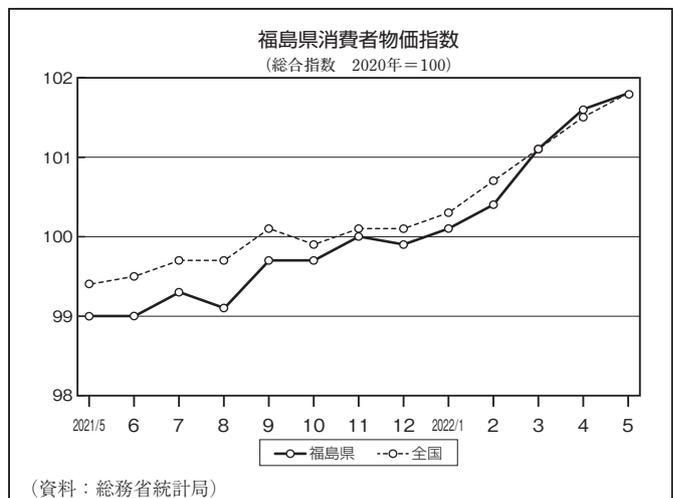
#### 乗用車販売：12カ月連続で前年比減

5月の乗用車販売台数をみると、新車が3,426台（前年同月比△15.7%）、中古車が7,867台（同△0.6%）、合計が11,293台（同△5.7%）となり、いずれも12カ月連続で前年を下回った。長引く世界的な半導体不足に加え、新型コロナウイルス感染症により海外からの部品供給に遅れが生じていることなどから、新車の前年割れが続いているものとみられる。



#### 消費者物価指数：前月比、前年比とも上昇

5月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が101.8で前月比+0.2%、前年同月比+2.8%。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の115.3（前月比+0.7%）など3費目で上昇、「教育」の101.1（同△0.6%）など5費目で下降した。

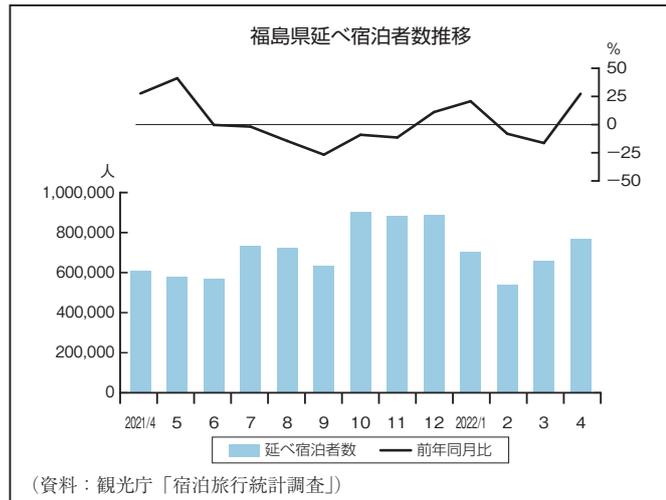


**観光**

※延べ宿泊者数は4月データ

**延べ宿泊者数：3カ月ぶりに前年比増**

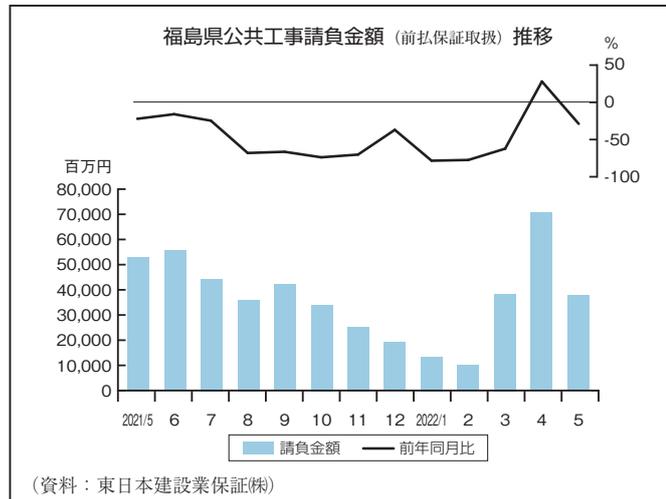
4月の延べ宿泊者数は、770,150人（前年同月比+26.9%）と、まん延防止等重点措置が3月に解除されたことや宿泊割引事業「福島県県民割プラス」が実施されたことなどから、3カ月ぶりに前年を上回った。



**公共投資**

**公共工事：請負金額は前年比減**

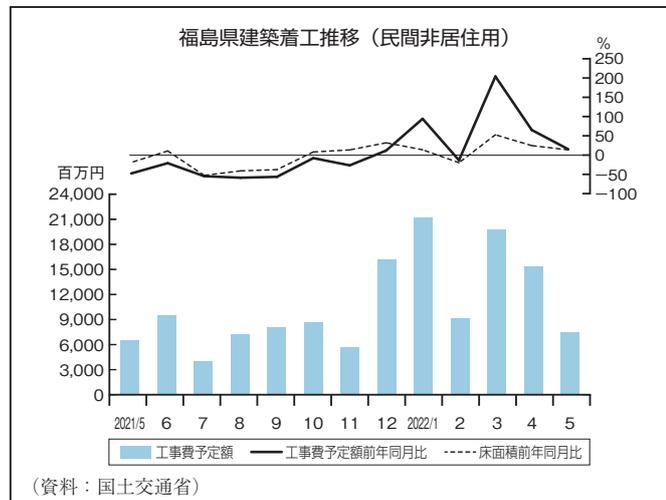
5月の公共工事前払保証取扱は、件数が413件（前年同月比△9.8%）、請負金額が381億円（同△28.8%）、保証金額が190億82百万円（同△27.6%）。発注者別請負金額をみると、国が192億58百万円（同△34.3%）、県が93億22百万円（同△29.2%）となり、前年に国が発注した除染や被災建物の解体工事、県が発注した道路整備工事などによる反動が窺える。



**設備投資**

**設備投資：工事費予定額は前年比増**

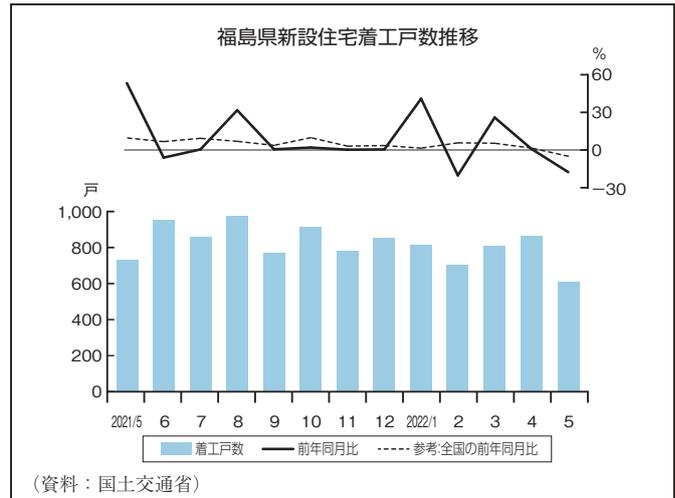
5月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が91棟（前年同月比△20.9%）と前年を下回った。一方、床面積は34,064㎡（同+13.3%）、工事費予定額は74億73百万円（同+15.0%）と前年を上回り、卸・小売業や製造業などの工事費予定額が前年比で増加した。



住宅投資

住宅建設：3カ月ぶりに前年比減

5月の県内新設住宅着工戸数は610戸（前年同月比△16.9%）と3カ月ぶりに前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が359戸（同△15.7%）、「貸家」が127戸（同△26.6%）、「分譲」が124戸（同△6.8%）といずれも前年を下回った。

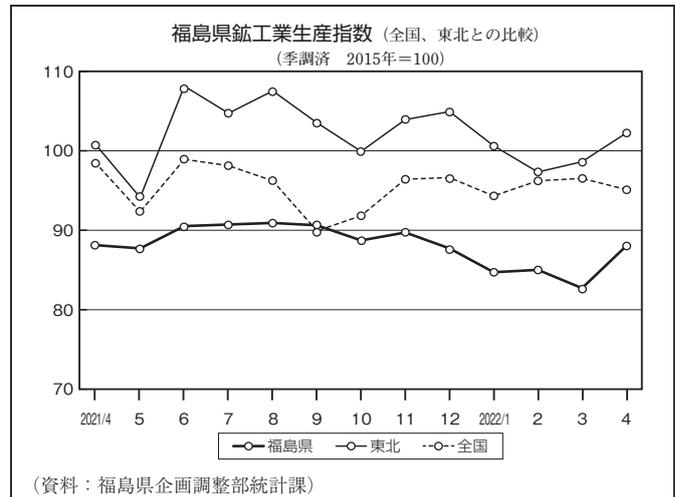


生産活動

※鉱工業生産指数は4月データ

鉱工業生産指数：前月比は上昇、前年比は下降

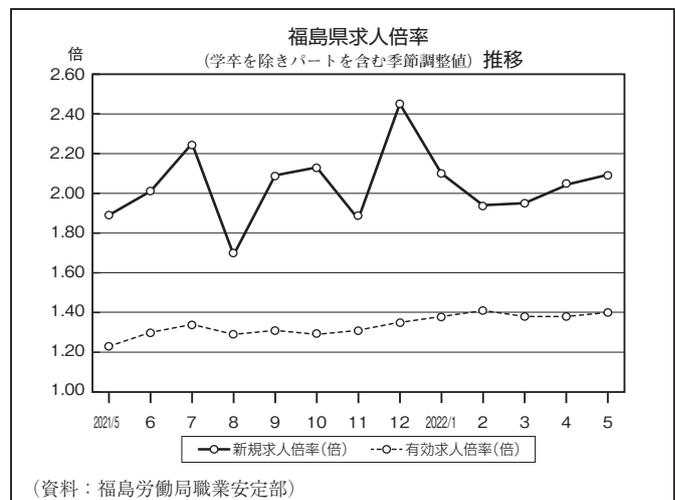
4月の鉱工業生産指数は、季節調整値が88.0（前月比+6.4%）、原数値が84.3（前年同月比△1.6%）となった。業種別の季節調整値をみると、「輸送機械工業」（前月比+42.3%）など12業種で上昇し、「電気機械工業」（同△22.5%）など7業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比、前年比とも上昇

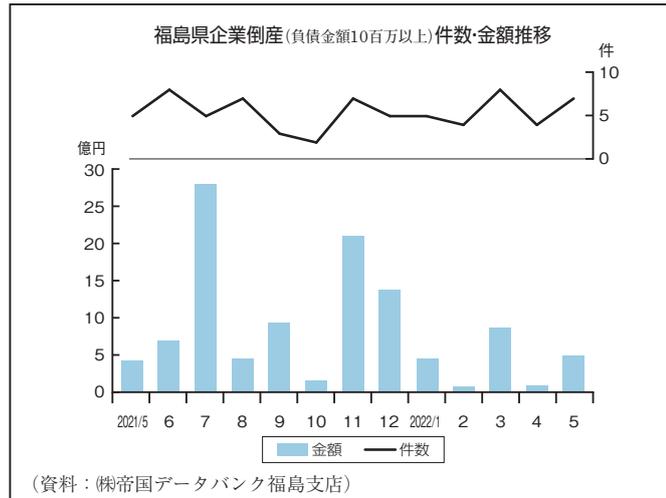
5月の新規求人倍率は、季節調整値が2.09倍（前月比+0.05ポイント）、原数値が1.80倍（前年同月比+0.10ポイント）、有効求人倍率は、季節調整値が1.40倍（前月比+0.02ポイント）、原数値が1.27倍（前年同月比+0.13ポイント）。5月の雇用保険受給者実人員は5,942人（前年同月比△1.7%）。



企業倒産

企業倒産：件数、負債総額とも前年比増

5月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が7件（前年同月比+40.0%）、負債総額が4億95百万円（同+15.9%）。業種別で見ると、卸売業が2件、建設業、製造業、運輸・通信業、サービス業、その他が各1件となった。

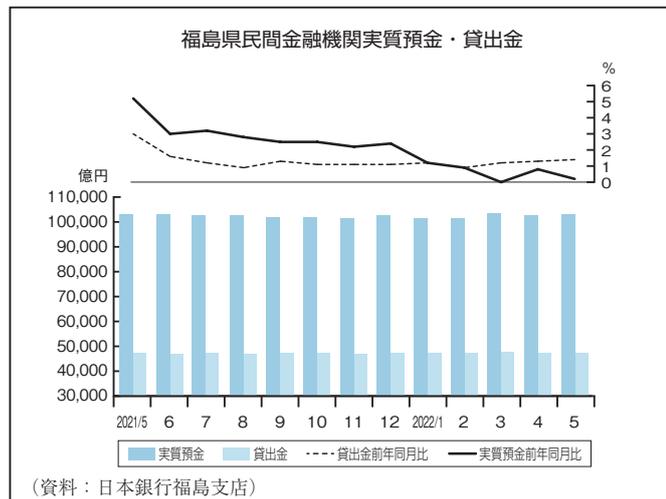


金融動向

資金需給：預金、貸出金とも前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の5月末の実質預金残高は、10兆3,256億円（前年同月比+0.2%）と3年連続で前年比増加。また、貸出金残高は、4兆7,599億円（同+1.4%）と9年連続で前年比増加。

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

5月の保証承諾は、件数が539件（前年同月比+12.5%）、保証金額が77億74百万円（同+13.9%）。5月末日現在の保証債務残高は、件数42,960件（同+1.2%）、金額5,637億24百万円（同△1.2%）。一方、5月中の代位弁済は、件数が29件（同+107.1%）、金額が3億83百万円（同+111.4%）。

